

本庁舎建設専門会議で出された意見

資 料	意 見
杭工法、構造種別・形式、基礎構造について	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震構造と比較して多少のコスト増であれば免震構造にすべき。 ・E案はメンテナンススペースが狭く、片持ち構造はリスクがあると考えられるためF案が妥当。 ・積雪寒冷地でも免震ダンパーや積層ゴム素材は劣化しないのか。 →鉄製のベアリングを用いて振動を減衰させる方式であり、積雪寒冷地でも問題ないとしている。
平面図・内部配置、面積算定について	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的スペースやカフェなどを右側にまとめていてわかりやすい。 ・総合案内から各課への動線が気になる。書かない窓口やデジタルサイネージの活用を検討した方が良い。 ・エントランスホールにある階段を3階以上に延長しても良いのではないか。それが難しければエレベータ裏の階段の視認性を高めた方が良い。 ・議場はハイサイドライトが良い。
セキュリティ・動線計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベータや階段など垂直方向のセキュリティも検討が必要。 ・相談室も個別にセキュリティを設定した方が良い。 ・庁舎完成までにスマートロックが当たり前の時代になるかもしれないので、情報を集めながら計画することが必要。 ・カードリーダーよりも生体認証の方が手軽ではないか。 ・鍵の貸し出しなど特定の職員に負担がかかるような仕組みはやめた方が良い。
ZEBランク目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEBランクの設定については、ZEB Ready相当が現実的と考える。 ・コストにもよるが、地中熱はアピールにもなるので積極的に採用した方が良い。
建具仕様、断熱性能、ガラス仕様について	<ul style="list-style-type: none"> ・窓など開口部は小さい方がZEBランクを達成しやすいが、待合や展望ロビーは大きなガラス面が良い。

資 料	意 見
通信設備(電話) について	<ul style="list-style-type: none">・ オンプレミスPBX及びクラウドPBXのいずれもFAXの使用が難しくなると思うので、FAX利用を無くせない場合にはアナログ回線を残す必要がある。・ アナログを候補から外すのは適切。
外装仕上材について	<ul style="list-style-type: none">・ 外装材は複数部材の使用が考えられるためパターンが多くあるが、代表的なものを比較する必要があるので、費用面の検討が必要。・ 江別市であればレンガを積極的に利用すると想定している。
外構整備(エリア配置) について	<ul style="list-style-type: none">・ 既存の樹木を残す場合も十分検討が必要。・ 学園通りの幅員は広いが車道が狭いので、来賓が来た場合も通るのであれば配慮が必要。